

# ICT支援員だより

平成29年度 第11号

平成30年3月1日 発行



過去の「ICT支援員だより」は次のURLに掲載しています。<http://www.akitakata.jp/ja/shisei/section/kyouiku/y124/s575/>

## ICT活用モデル校の実践事例

- 学校名 向原小学校
- 実施日 平成30年1月18日（木）
- 学 年 第3学年
- 教 科 社会科
- 单元名 昔の道具と人びとの暮らし
- 本時の目標 昔の道具に関心を持ち、昔の暮らしでは、どのような道具が使われていたのかという学習課題をつかむ。



### ○本時の学習展開（主な学習活動）

|  | 主な学習活動   | ICT 活用  |   |
|--|--|---|---|
|  |  | T（指導者）  | S（児童生徒）   |
| 導<br>入   | 1 昔のもの当てクイズをする。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>A</b> プロジェクター型電子黒板を使って、昔の道具の一部を拡大した画像を提示し、関心を高める。</li> </ul> |   |
|  | 2 本時のめあてを確認する。   |   |   |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <b>【めあて】</b> 昔はどんな道具を使っていたかを知ろう。                 </div> |  |   |   |
| 展<br>開   | 3 昔の台所の画像から、使っていた道具を探し、名前や目的などをグループ内で出し合う。 <b>【ペア】</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>B</b> タブレットに2つの昔の台所の画像を配信し、道具の名前や気づいたことを書き込ませる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2人1組でタブレットに昔の道具の名前や気づきを書き込む。</li> </ul> |
|  | 4 見つけた道具を出し合い、みんなで昔の道具の使い方や暮らしについて話し合う。 <b>【全体】</b>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>C</b> 各ペアの気づきをつなげていき、昔の道具や暮らしを児童にイメージさせる。</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・送信した画像をもとに、ペアで出た気づきを発表する。</li> </ul>    |
| 終<br>末   | 5 「昔の道具と人びとの暮らし」の単元を通した学習課題を設定し、学習計画を立てる。              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・昔の道具を持ってきたり、本で調べたりすることを確認する。</li> </ul>                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分でできそうなことを考える。</li> </ul>              |

○活用の様子（画像）

**A** 七輪の画像の一部を大きく提示し、クイズ形式にして関心を高める。その後全体を提示し、それは土間で使われていたことを知る。



**B** タブレット PC に気づきを書き込む。



**C** 送信した画像を使って、発表する。



## ICT を活用した授業づくり ～今そこにある機器～

ICT 支援員だよりの配布、共有フォルダーへの ICT 活用実践事例の掲載で活用に対する啓発を行ってきましたが、授業改善のひとつの手法として ICT の活用は進んでいるでしょうか。平成 29 年 6 月 15 日に吉田小学校の外国語活動の授業で実際の活用場面も見ていただき、その効果については子供の学びの姿を通して実感していただいているところだと思えます。

さて、ICT 機器は活用モデル校、導入校、導入予定校、未導入校でちがいますが、今、各学校にある機器は有効に活用していただいているでしょうか？

- どの場面で、だれが活用するのか。
- 教材を提示するタイミングや見せ方を工夫する。



この視点で ICT 機器を効果的に活用することで、より主体的で対話的な深い学びが実現し、教科のねらいを達成できると思います。これまでの活用報告を分析してみると、特に「見せる」ところでは、ICT 機器は力を発揮します。各学校に今ある機器がどのような状態でどのように使えるのか、どのような機器があればより効果的に活用できるのかなど来年度の学習指導計画を立てていく中で、ふりかえてみてください。

今年度は、5 月より毎月 ICT 支援員だよりを発行してきました。

これからも少しでも先生方が授業で ICT を活用してみようと思ってくだされば、うれしいです。1 年間ありがとうございました。

